

陸別町 橋梁長寿命化修繕計画

橋梁点検および長寿命化修繕計画の目的

(1)背景

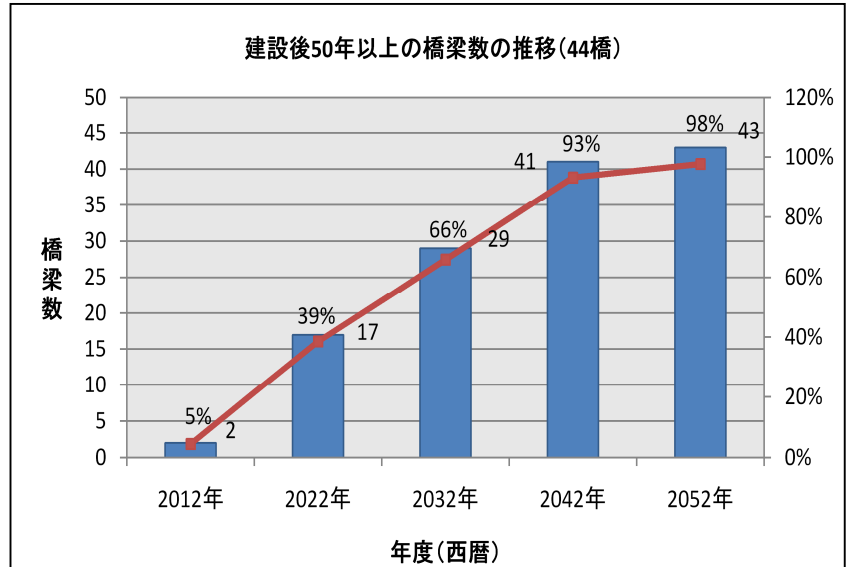
陸別町が管理する道路橋（ボックスカルバートは除く）は 88 橋あり、このうち平成 23 年度には 44 橋の橋梁点検を実施しています。

陸別町の橋梁は、その多くが 1960 年代から 1990 年代に建設されています。

平成 23 年度に点検を実施した橋梁は、建設後 50 年を経過する高齢化橋梁が 2 橋（約 5%）ありますが、20 年後には、急速に高齢化が増大し、高齢化橋梁は 29 橋（約 66%）に達する見込みです。

1960 年代から 1990 年代に建設された橋梁が、近い将来集中的に更新時期を迎える際に、一時的に巨額の費用が必要となり、対応が極めて困難となることが想定されます。

このような背景から、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに充てる費用に対し、可能な限りのコスト削減の取組みが不可欠です。



(2)目的

陸別町では道路交通の安全性を確保しつつ、コスト削減を図るため、これまでの事後保全（対症的な対応）から予防保全（小規模な補修を数回行う）としての計画的な対応により、橋梁を長寿命化させる方針に転換します。そこで必要となる各橋梁の維持管理の計画を、「長寿命化修繕計画」といいます。

橋梁の長寿命化修繕計画を策定するためには、橋梁の現状（損傷状況）を把握する必要があり、そのために橋梁点検を実施します。

橋梁点検および長寿命化修繕計画の予定

陸別町の橋梁点検および長寿命化修繕計画の予定を示します。

		町道1級	町道2級	町道その他	合計
平成23年度	点検橋梁数	22橋	22橋	0橋	44橋
	計画策定橋梁数	0橋	0橋	0橋	0橋
平成24年度	点検橋梁数	0橋	0橋	44橋	44橋
	計画策定橋梁数	0橋	0橋	0橋	0橋
平成25年度	点検橋梁数	0橋	0橋	0橋	0橋
	計画策定橋梁数	22橋	22橋	44橋	88橋

対象橋梁の健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁点検については、国土交通省 国土技術政策総合研究所で作成した「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)」に基づき私たちの健康診断と同様に定期的を実施し、橋梁の損傷を早期に把握することで、予防的で計画的な対応ができるようにします。

橋梁は上部工・下部工から成り立っています。

上部工……………主桁・床版(いわゆる橋桁といわれる箇所)

下部工……………橋台・橋脚・基礎工(上部工を支えている土台)

橋梁をこれらの部材に分け、遠望目視(場所によっては、近接目視)により点検を行い、現在使用している橋梁の状態(劣化・損傷度)を把握します。

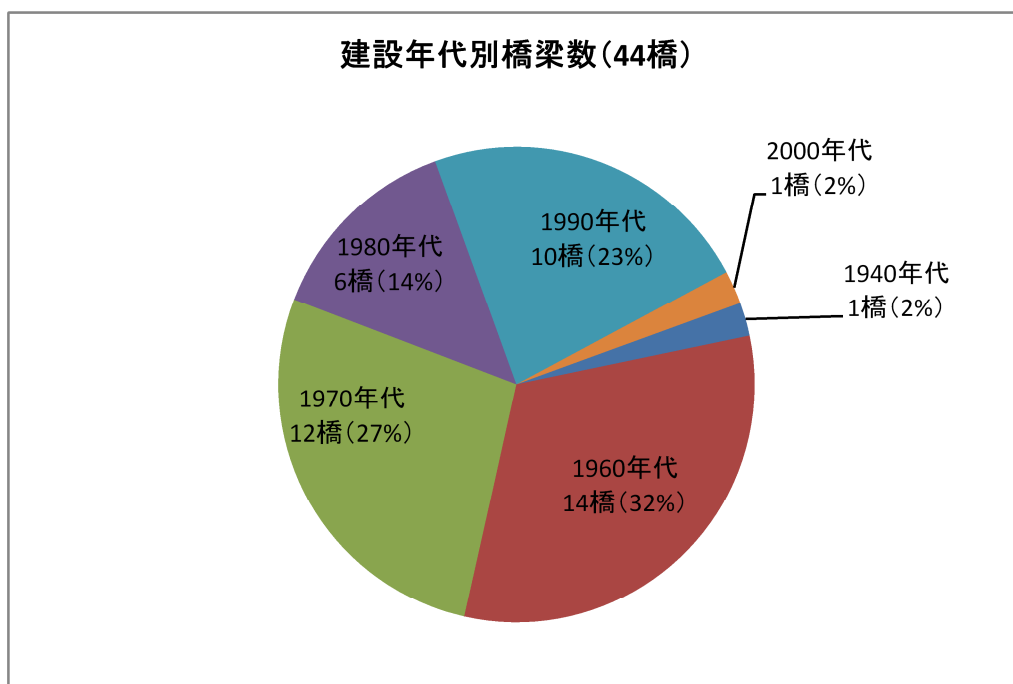
橋梁点検結果

平成 23 年度に実施した 44 橋の橋梁点検結果を以下に示します。

1. 建設年代別橋梁数

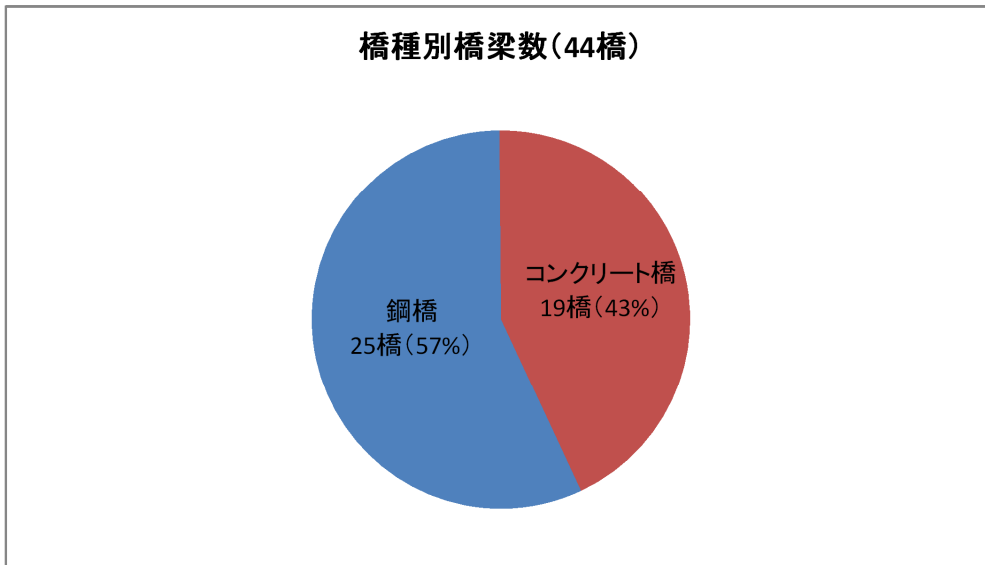
建設年は、1960 年代～1990 年代に集中し、全橋梁の 98%程度占めている。

これらの橋梁は、すでに 20 年～40 年程度が経過している。



2. 橋種別橋梁数

橋梁種別は、鋼橋がコンクリート橋に比べ、若干多い。



3. 橋長別橋梁数

橋長は、30m 未満の橋梁が 70%程度と非常に多い。

